

大代

婦人会だより

No.193

R2.1.10



新春のお慶びを申し上げます

大代婦人会 会長 佐藤 京子

新年と令和になり始めての元旦をむかえ二重の喜びに心が明るく陽を受けています。

皆様、地域の皆様のお陰をもちまして令和元年の行事は総会を残して無事全て終えることが出来ました。ありがとうございます。

12月1日(日)第6回大代婦人会支部長会の後の忘年会にて大田サザンクロスさんを迎へクリスマスマスのフラワーアレンジメントをしました。先生の言葉

で印象に残っていますのは、「いいですね。」「素的ですね。」「こういう言葉です。最近子供達をほめて伸ばしましょうとよく耳にします。大人の私も先生から「いいですね。」「言われた時は嬉しくてニコニコして隣の方に思わず笑顔で話かけていました。隣の方もその隣の方も全員先生から「いいですね。」「素的ですね。」「と言ってもらいました。全員に？と不思議に思ってはいけません。全員の出来栄えの写真を見て下さい。とても素的な作品ばかりです。先生の「素的ですね。」「と言う言葉が花と私達にウキウキする心と笑顔と笑いを頂きました。ほめるばかりではということも聞きます。7つほめて3つ前向きな言葉かけをと言われます。

大代婦人会は今年も1人1人が丸となってまい進してまいりたいと思います。皆様何卒健康に十分留意して頂きますよう宜しくお願いを申し上げます。



編集部から

文化部長 横田美恵子



あけましておめでとございます。皆様も穏やかなお正月をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

私も孫と一緒ににぎやかなお正月を過ごしました。

いつも会員の皆様には原稿を書いていただき有難うございます。私も婦人会の文化部長という役をいただいているから、随分経ちました。

だんだん高齢化が進み、(勿論私も)会員数も少なくなりましたが会長・部員みんなで協力して支えあってお便りを発行しています。時にはお便りに励まされたり、「みんな考える事は一緒なのだなあ」と安心したり・・・。

そして何よりいつも快く、お便りを作製してくださる本郷の松井和子さんにはとても感謝です。嬉しい事です。ありがとうございます。

3ヶ月に一度の部員の皆様が揃って

の編集会議。お茶をいただきながら、世間はなしや美味しい料理店や行って良かった温泉、家族の現況報告等々、おしゃべりを楽しみ、「今度みんなで行くこつやあ」と約束をしたり、楽しい会話が続きます。

部活動にはこの楽しい気持ちがないといけないと感じています。だからみんなが集まって編集作業をして家に帰って、「今日の会は楽しかったなあ」と思えるように文化部の活動をみんなで考え継続していきたいと思えます。その為には皆様方からのご寄稿をお願いしたいと思えますので新年度もご協力をお願い致します。



近況報告

満更ではない!!

椿 柿丸 寿枝



光陰天の如しとか、今年も残り十日余り月日の過ぎ去るのは早い。その月日の中で私は何をして来たのだろう。この季節になると十大ニュースがよく発表される。私の十大ニュースいえ十大困事と云う方が当たっている。

一、歩いて当り前とおもっていたのに歩けない。一、高い所の物を取る、物を抱える事が出来ない。一、なかなか思い出せない。すぐ忘れてしまう。

一、毎日の様に搜し物をする。数えたら切りがない。改めて落ち込む。マイナス思考に? そうだプラス思考もと考え直して見る。一、皆様のお世話になりながら一人での暮らしが出来ている。一、えびすの会も支えて頂きながら参加が出来る。一、猿と戦いながらも野菜を自給自足出来ている。一、いろいろな趣味もぼつぼつ出来ている。こう考え見ると私だって満更ではないなと自己満足?

地域の皆様、多勢の方々から保護して支えて頂き助けて頂きながら、この大好き大代で暮らすことは大きな幸せです。唯々感謝!!感謝で一杯です。

一日の間にプラス思考、マイナス思考を繰り返しながらの私の今日この頃です。本当に一杯一杯有難うございます。

高山を生きて

川上 岩田 律枝



高山を背に大自然の中に生きて八十余年、朝目覚め立ち上りああ今日も無事に立ち上がる事が出来たと喜び一日が始まる。一人で食べる程の野菜を作りながら収穫の喜びを感じ食べる楽しみを思う。

時には、雑草と戦い猿と戦う事もしばしば。畑の端に腰をおろし周りに咲く花を眺めてこの花はあの人に、あの花はこの人に、苗を頂き枝を頂いて咲かせたもの。在りし日の姿を偲び懐かしむ一時もある。移り行く自然と年者いてゆく自分を思い、成長してゆく木々をみて、あれは父が植えたもの、こ

れは夫が植えたものと思い出に更ける事もあり、思い出いっぱい自然の中で過す毎日である。

思いかえせばこの長い年月、会員の皆様や地域の皆さんに支えられ生きて来た感謝、感謝である」。一日を終え今日も無事に送らせてもらったと感謝しながら床に着く。

老病死避けては通れない道である。余生わづか 小さな楽しみをさがして明るく生きたい。

生かされて 幸せ届け 福寿草



JAの光料理教室をしました

今年の冬もJA企画推進課神移かみうつりさんの

指導のもと「キノコとサケのオープンになりすし」「キノコたっぷり豚キムチ」「炒めわかめとねぎのスープ」の3品目を作りました。しいたけ、しめじ、マイタケと、もろぶたにきれいに並べられた沢山のきのこがやってきました。7月も夏の料理教室があります。是非皆さん参加してください。

美味しかった料理
ごちそうさまでした。



○文化祭農産物品評会入賞者



★特別賞

小豆 谷口ミサコ(四日市)
 野菜豆 曾根 和子(柿田)
 生姜 梨木 久子(四日市)

☆1等賞

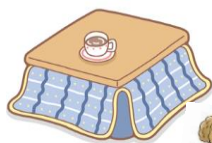
大根 笠岡 勝江(弓久)
 柚子 横手 藤代(柿田)
 銀杏 縄手 光雄(椿)
 白菜 上村 恒徳(川上)

☆2等賞

大根 上村 恒徳(川上)
 柚子 縄手 光雄(椿)
 銀杏 竹島 麗栄(四日市)
 白菜 笠岡 勝江(弓久)

||俳句||

あすなる句会



花田 時子

遠近おちんちんに煙の立ちて冬めける

さつま諸戦中戦後懐かしむ

今田 文字

一番に持ち去る葱ねぎや猿の群

老おい二人冬菜は甘し夕餉かな

岩田 律枝

短日じつじつや仕事に追はれ一日ひとひ過ぐ

刈りし後猪ししが荒らすや冬の村

猫でなく犬がぬくぬく寝る炬燵
 鍋囲うたげむ夏なつのしめはきざみ葱

横田 美恵子

冬日濃し友との出逢ひほっこりと
 故郷や令和元年初師走
 榎原 敏子

つぎはぎの続く舗装路冬日濃し
 貝を足して二日続きのおでんかな
 柿丸 寿枝

※本年もよろしく
 お願い致します。

